記者になって「走れメロス」を記事にしよう!

教材:「走れメロス」(光村図書 P196)

「走れメロス」の最終段階で、「走れメロス」をはがき新聞にまとめさせる。 登場人物に対する理解を深め、本文中の抽象的な語彙に関して、その言葉の理解を 深めさせるためである。書き方は、次の3種類から選ばせる。

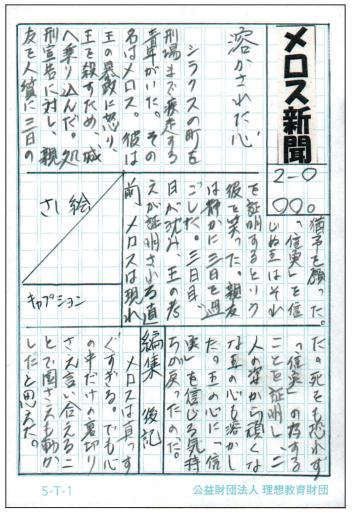
- 1、このできごとの後に、新聞記者である自分がインタビューをした形。
- 2、主要な3名の登場人物から1人を選んでラストのシーンの書き換え(独白)。
- 3、物語全体を密着取材した記事としてまとめる。



どの書き方を選んでも、考えの根拠の適切さを念頭におき、具体例やわかりやすい説明で、は がき新聞にコンパクトにまとめられるようにする。

- 根拠の適切さを考えて説明や具体例を考えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、 自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。(B(1)ウ)
- 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などに ついて考えたりして、内容を解釈すること。 $(C(1) \land)$
 - A····Bの内容に加えて、心情変化 について「なぜ」の答えを明 確に書いている。また、友情 物語だけではない部分にも言 及している。
 - B・・・・登場人物1人にスポットを当 てて、言動(行動)から見え てくることを文章中の表現の 効果を考えて、わかりやすい 文章にまとめている。
 - C···・あらすじや内容説明で終わっ ている。
- ※「主体的に学習に取り組む態度」 2作品目として、シラー作「人質」 (資料提供) との比較を論じた新聞 記事などが書ける。





→次のページに続く

※この教材学習の始めに、このはがき新聞を書くことを伝えておくことで、心構えや ノートへのメモなどが書けると思われる。また、はがき新聞を書くときの材料が残る。



・・5分

② はがき新聞の作り方説明 ・・・・・ 5分

③ はがき新聞制作 ・・・・・・・・ 30分 編集後記 40字程度書かせる

④振り返り ・・・・・・・・ 10分

一 学びを広げるポイント

• ミテミテ(理想教育財団助成品)に入れて互いに感想を述べ合う。感想を読むことで、自分の理解との相違にも気がつく。人物を捉えた視点や、違う考え方を読むことで新たな学びにつながる道を意識させられる。

記者になって「走れメロス」を記事にしよう!

学習を終えて、もう一度それぞれの人物やできごとに スポットライトをあてて考えてみましょう。

新聞記者になったつもりで、「はがき新聞」にまとめてみましょう。



はがき新聞の作り方



教材:「走れメロス」(光村図書 P196)

- 1 レイアウトの例を参考に、ペンと定規 で枠の線を引きましょう。
- 2 新聞のタイトル(題字)を右横上に太めに書きましょう。

(授業の中で決まっていなければ、自分で考えて付けましょう)

- 3 「発行者」(タイトルの下枠)に横書き で名前を書きましょう。
- 4 新聞記事は次の3つの中から選びましょう。
 - ①話の後に新聞記者(自分)がインタ ビューをした形。

(インタビューをされる側も、自分 でなりきって答えましょう)

②3名の登場人物から1人を選んで ラストシーンの心情を独白という 形で書きましょう。全体を新聞の 記事として。

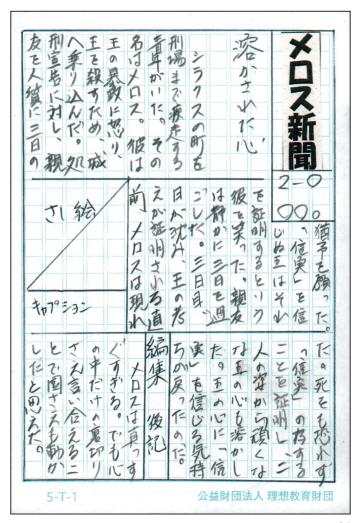
(「信実」「正義」「友情」「愛」など、 どんな信念を持ったのか)

③この物語全体を取材してきた記事としてまとめましょう。

(あらすじではなく、記者の目を通してどんなできごとであったかを書くこと。密着取材をした記者の目から見た変化や不変を書いてみよう)

🍣 準備するもの

国語の教科書、ノート(学習内容を振り返られる物)、鉛筆(下書き)、 消しゴム、ボールペン(黒)、定規、 彩色用のペンや色鉛筆など



レイアウトの例

- 5 最初の三行は空けましょう。 (見出しの場所)
- 6 書くときは常体(「~だ」「~である」) がいいでしょう。「いつ」「どこで」 「なぜ」「どのように」「だれが」「どん な風に」など「5W1H」を意識して 書いてみましょう。
- 7 編集後記(はがき新聞を作った感想) は50字です。
- 8 書けたら、必ず読み返しましょう。誤字脱字、表現のおかしなところはないか確認しましょう。句読点の多い少ないも確認しましょう。
 (句点「。」は40字で1つくらい)
- 9 書き終えてから、見出しを考えましょう。

「見出し」は、何を書いたかという説明ではなく、この新聞に何が書かれてあるのか、を書きます。登場人物の感情の変化の何に驚いたか、どんなころがすごいのか、などを書きましまう。見出しまるで表しましょう。見出します。「~です」「~だ」はただけで、記事の内容が分かるような言葉を使います。「~です」「~だ」は使いません。「・・・」も使用しません。

- 10「編集後記」に「はがき新聞」にまとめた感想を書きましょう。
- 11 時間があれば、枠の外側、題字、見出しなどをカラーにしてみましょう。